

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

大規模汚泥処理施設を包括的民間委託

横浜市南部汚泥資源化センターの運転管理業務が包括的民間委託に変わります。

横浜市環境創造局南部汚泥資源化センターでは、運転管理業務を仕様発注方式による一般競争入札で実施していますが、より一層の維持管理の効率化を図るため、平成19年7月から約4年間の複数年契約による「包括的民間委託」を導入します。

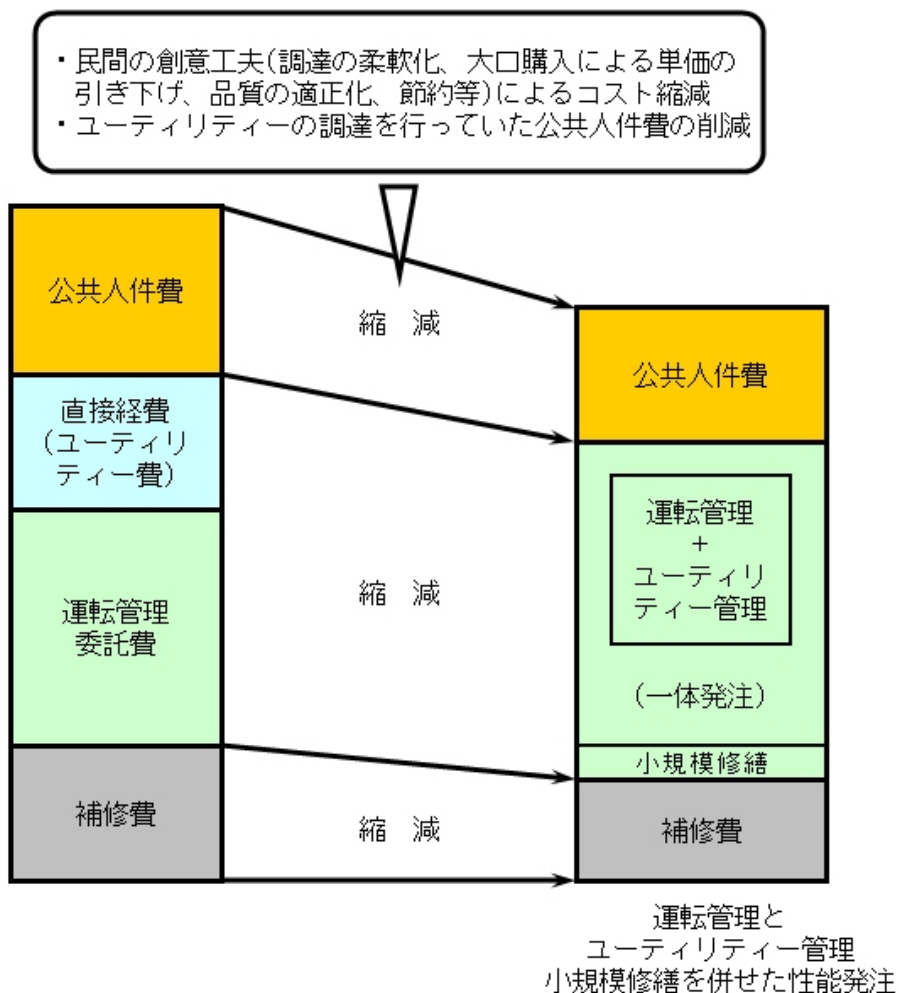
1 包括的民間委託とは

従来の詳細な仕様書に基づく委託ではなく、一定の要求水準を満足できれば、運転管理や維持管理の詳細については民間企業の裁量に任せる性能発注による委託方式です。

同方式は、従来から委託してきた運転管理委託に加え、これまで個別に発注していた点検や清掃などの委託業務、物品等の調達及び修繕工事など幅広い維持管理業務を委託に含めるとともに期間も複数年契約が基本となります。

導入の効果は、民間企業の運転管理のノウハウの活用による業務の効率化、コスト縮減、公共人件費の削減などが図れることです。

包括的民間委託によるコストの縮減イメージ



2 施設概要

南部汚泥資源化センターは、横浜市南部方面 6 か所の水再生センター(中部、南部、金沢、西部、栄一、栄二)の汚泥を集約処理(受泥、濃縮、消化、脱水、焼却)する施設です。

3 総合評価審査委員会の設置

民間事業者の選定に当たり、公平性、透明性に配慮した上で、委託料だけでなく民間事業者の技術提案を考慮して適切な事業者の選定を行うため、下記の学識経験者等で構成される横浜市下水道事業包括的管理委託総合評価審査委員会を設置しました。

なお、入札方式は総合評価方式一般競争入札により行われます。(敬称略)

委員長	溝口 周二	横浜国立大学経営学部会計・情報学科教授
委員	池田 陽子	山田・池田法律事務所 弁護士
委員	稲員 とよの	首都大学東京 都市環境学部准教授
委員	田中 和博	日本大学理工学部土木工学科教授
委員	宮原 茂	全国上下水道コンサルタント協会専務理事



第1回 総合評価審査委員会 (平成18年9月22日)

4 契約締結までの主なスケジュール(予定)

入札公告	平成18年11月下旬
入札参加資格確認書提出期限	平成18年12月下旬
入札(書類受付)	平成19年1月上旬
落札者決定	平成19年3月中旬
契約締結	平成19年4月1日
委託業務開始	平成19年7月から

5 その他

詳細については、横浜市環境創造局ホームページに、逐次、掲載して行きます。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyou/gesui/houkatsu/index.html>